

なみえの未来をともにつくります

 なみえ

議会だより

2010.2.1

No. 127



12月定例会

思い出づくりのもちつき大会 津島保育所
(写真提供：今野幸四郎氏)

12月定例議会…………… P 2～P 5
臨時議会…………… P 5
一般質問…………… P 6～P 11
議会改革講演会…………… P 12

公聴会開催…………… P 13
委員会研修報告…………… P 14～P 15
議会活動の近況…………… P 15
町民の声／編集後記…………… P 16

第四次浪江町

長期総合計画

後期計画の基本構想及び基本計画

修正のうえ可決



初日に向かって輝けNYTS(ナイツ)
(浪江焼麺太国応援ユニット)

要旨

●平成21年第11回浪江町議会定例会が12月9日から18日までの10日間の会期で開催され、一般質問には10人が登壇し活発な質疑が交わされました。

●今議会に提案された議案は、第4次浪江町長期総合計画基本構想及び基本計画の一部変更について、浪江町保育所条例の一部改正、公共下水道根幹的施設の建設工事委託に関する基本協定の一部を変更する協定の締結について。さらには、一般会計補正予算等予算案件8件、物品購入契約の締結等2件のほか教育委員会委員の任命1件など合計15件。議会からは議員発議による意見書(案)2件が提案されました。長期総合計画については、議会からの修正議案が可決され一部修正の上成立しました。他の案件は、いずれも原案どおり可決、同意されました。

●今回請願1件の提出がありました。継続審議となっていた陳情1件と合わせて審議した結果、採択1件、継続審査1件となりました。採択案件については、関係機関に意見書を送付しました。

主な議案

○議案第90号 第四次浪江町長期総合計画基本構想及び基本計画の一部変更について

第四次浪江町長期総合計画については、基本構想だけではなく、基本計画まで議会の議決事項としているため、これまで全員協議会の中で数回にわたり町側との意見交換等を行い、より良い計画策定のために議論

を重ねてきた。

その結果新たに数値目標を設定し、「いつまでに、何を、どこまで達成するか。」を明記したものとなっている。また、進捗管理についてもシステム化が明記されるなど議会の意向を踏まえた計画となっている。

今回の計画も職員総出による手作りの計画であること。住民の意見反映をパブ

リックコメントの導入等で実現してきたことなど評価する点も多かった。

議会としても今回初めて常任委員会、所管事項について審議を行い、議会の意向を反映させるべく町に提案をしてきた。その結果、町では議案の訂正を行い、本会議において審議したが、議会を納得させるには至らず、議員発議による修正案の提出により、さらに数か所の文言修正と項目の追加を行い修正可決された。

(一部修正のうえ可決)



○ 議案第91号 浪江町保育所条例の一部改正について

移転新築中の津島保育所の所在地を「下津島字原90番地4」に変更するもの。
(賛成多数で可決)

○ 議案第92号 浪江町公共下水道根幹的施設の建設工事委託に関する基本協定（幾内中継ポンプ場）の一部を変更する協定の締結について

日本下水道事業団と契約した幾内中継ポンプ場の建設工事委託に関する協定について、入札の結果、契約金額に変更が生じたことによる変更協定の締結。
(賛成多数で可決)

主な補正予算

○ 平成21年度浪江町一般会計補正予算(第6号)

町税の収入見込みが増加したことや障害者自立支援給付金との国県支出金が確定したため、歳入歳出それぞれ9726万6千円を増額した。

歳出の主なものは障害者支援費4000万円、台風18号による農業災害復旧費1228万8千円、同じく土木災害復旧費470万1千円介護保険特別会計他特別会計繰り出し金1163万3千円などです。
(賛成多数で可決)

個人町民税の補正増の理由は

質問 12月補正で個人町民税が約1億円も増となるのは尋常ではない。理由は。

税務課長 当初予算編成段階で、景気悪化による所得割額を15%減収と見込んでいましたが、想定外に落ち込みが少なかったことと、収納率の向上に努めていることから補正増をしたところです。

太陽光発電システムに係る補助の増額、あるいは国県への増額要求の考えは

質問 CO₂対策や需要増との兼ね合い、国の政策変

換等を考慮し、町の補助の増額あるいは国県に対する補助増額を求める考えは。
企画調整課長 当初で10基、9月で10基、今回10基と合計30基分の予算措置をしてきています。9月からは県の補助が打ち切られ、その分を町で助成しているのが現状であり、実質上乘せ補助となっています。

○ 平成21年度浪江町一般会計補正予算(第7号)

全国的に被害が拡大しているエチゼンクラゲの被害者に魚具資材の共同購入に対する助成を行うため、歳入歳出それぞれ69万円を追加補正した。

歳出の主なものは、浪江町エチゼンクラゲ被害対策補助金138万円です。
(賛成多数で可決)

その他の議案

○議案第101号 物品
購入契約の締結について(小中学校コンピューター購入)

小学校6校及び浪江中学校1校のコンピューター教室及び普通教室に教育用コンピューター211台、校務用コンピューター6台、周辺機器一式を購入するもの
契約の方法
指名競争入札による
契約金額
3769万5千円

契約の相手方

有限会社 アクツ
代表取締役 阿久津邦利
工期
自 議会の議決を得た日から

至 平成22年3月31日
(賛成多数で可決)

○議案第102号 物品

購入契約の締結について(小中学校、幼稚園、公民館デジタルテレビ)



更新が待たれる校務用パソコン (浪江中)

小中学校、幼稚園、公民館用デジタルテレビ及び移動式スタンド81組を購入するもの

契約の方法

指名競争入札による
契約金額
1408万4280円

契約の相手方

有限会社 アクツ
代表取締役 阿久津邦利
工期
自 議会の議決を得た日から

至 平成22年3月31日
(賛成多数で可決)

報告

○浪江町公立学校林部分林契約の一部解約について

国有林野事業により十萬山作業道新設に伴う道路敷用地として、浪江町公立学校林部分林契約を締結している大字井出字沢山地区内の国有林の一部を使用するため、契約変更をするもの
解約面積
2597平米

樹種、本数

杉296本、赤松4本、計300本

人事

○教育委員会委員の任命

青田忠文氏の再任に同意しました。任期は平成21年12月24日から4年間です。



○青田 忠文氏
(北幾世橋)

皆さんから提出された請願

〔採択された請願〕

○双葉厚生病院と県立大野病院との統合をめぐる、双葉郡内町村長と県との約束の完全履行を求める請願書

〔請願者〕

双葉地域の医療を良くする住民の会
代表 遠藤 陽子

議員発議の意見書

○電源立地地域対策交付金制度の交付期間延長等を求める意見書

主旨 電源立地地域対策交付金の水力発電施設周辺地域交付金相当部分(水力交付金)の交付期限が平成22年で満了することから期間の延長と最高限度額及び最低保証額の引き上げなど交付条件の改善や事務手続きの簡素化を要望する。
〔提出先〕
経済産業大臣
財務大臣・総務大臣
(賛成多数で可決)

○双葉厚生病院と県立大野病院との統合をめぐる、双葉郡内町村長と県との約束の完全履行を求める意見書

主旨 崩壊状態にある双葉郡内の救急医療について、●病院施設整備を含め、政策医療として直接県の責任において実施し、一日も早く充実強化を図ること。
●県と双葉郡内町村長が約束した
①25名以上の医師確保
②病床数は270床を基



本とする。
③救急医療などの政策医療については県が責任を持って人的及び財政的支援をする
④病院の施設整備を支援する
との4点の完全な履行なくして統合を行わないこと。
〔提出先〕
福島県知事
福島県病理事業管理者
(賛成多数で可決)

第11回(12月)定例会の採決状況

議案番号	件名	議決結果
議案第90号	第4次浪江町長期総合計画基本構想及び基本計画の一部変更について	修正可決
議案第91号	浪江町保育所条例の一部改正について	原案可決
議案第92号	浪江町公共下水道根幹的施設の建設工事委託に関する基本協定(幾内中継ポンプ場)の一部を変更する協定の締結について	原案可決
議案第93号	平成21年度浪江町一般会計補正予算(第6号)	原案可決
議案第94号	平成21年度浪江町国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)	原案可決
議案第95号	平成21年度浪江町公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第96号	平成21年度農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第97号	平成21年度浪江町介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第98号	平成21年度浪江町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第99号	平成21年度浪江町水道事業会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第100号	教育委員会委員の任命について	同意
報告第6号	浪江町公立学校林部分林契約の一部解除について	報告
議案第101号	物品購入契約の締結について(小中学校・幼稚園・公民館デジタルテレビ購入)	原案可決
議案第102号	物品購入契約の締結について(小中学校・幼稚園・公民館デジタルテレビ購入)	原案可決
議案第103号	平成21年度浪江町一般会計補正予算(第7号)	原案可決
議案第14号	電源立地地域対策交付金制度の交付期間延長等を求める意見書(案)	原案可決
議案第15号	双葉厚生病院と県立大野病院との統合をめぐる、双葉郡内町村長と県との約束の完全履行を求める意見書(案)	原案可決
	委員会の閉会中の継続審査又は調査について	原案可決

臨時議会

9月定例議会以降、2回の臨時議会が開催されました。

町独自の助成を

11月4日には、新型インフルエンザ予防接種に係る接種費用の助成を行うための補正予算案を審議しました。歳入の主なものは、新型インフルエンザ予防接種実費費用軽減事業県補助金1,383万7千円、歳出については、新型インフルエンザ予防接種委託料2,491万5千円などでした。

給与改定を含め、総額4200万円強の減額

11月30日には、浪江町職員の給与改定が行われることに伴う関係条例及び補正予算の審議が行われました。町三役、議会議員についても職員同様引き下げとなり、人事異動と給与改定分を合わせたすべての会計の合計では、4,263万1千円の減額となりました。

第9回臨時会の採決状況

議案番号	件名	議決結果
議案第74号	平成21年度浪江町一般会計補正予算(第4号)	原案可決

第10回臨時会の採決状況

議案番号	件名	議決結果
議案第75号	町長及び副町長の諸給与支給に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第76号	浪江町教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正について	原案可決
発委第3号	議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第77号	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第78号	職員の給与に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第79号	職員の給与の関する条例の一部を改正する条例の一部改正について	原案可決
議案第80号	一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第81号	単純な労務に雇用される職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第82号	企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第83号	平成21年度浪江町一般会計補正予算(第5号)	原案可決
議案第84号	平成21年度浪江町国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第85号	平成21年度浪江町国民健康保険直営診療施設事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第86号	平成21年度浪江町公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第87号	平成21年度浪江町農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第88号	平成21年度介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第89号	平成21年度浪江町水道事業会計補正予算(第2号)	原案可決

一般質問

10 議員が質問

■ 山崎博文

- (1) 台風18号による被害状況と今後の防災対策について
- (2) 浪江小学校校庭芝生化のモデル校指定の実現について
- (3) 高齢者が生きがいの持てる町づくりについて

■ 紺野榮重

- (1) 財政、下水道の件
- (2) 農政問題と協働の町づくりの件
- (3) 浜街道の件・114号線拡幅の件

■ 佐々木英夫

- (1) 原田直之氏を名誉町民にする考えはあるか
- (2) 浪江町役場ホールの解放を町民にすべき
- (3) 芸術、文化の芽が育たないのは何故か
- (4) 仮称「健康科学プラザ」の実現は

■ 田尻良作

- (1) 農業行政について

■ 小黒敬三

- (1) 福島県入札制度の例をとって浪江町の入札制度の実態を問う

■ 馬場 績

- (1) 「事業仕分け」と来年度予算編成について
- (2) 雇用危機と対策について
- (3) 地域医療及び新型インフルエンザ対策について
- (4) エチゼンクラゲの被害対策について
- (5) 後期高齢者医療制度の保険料軽減について
- (6) 農業、農村の環境整備と地域活性化について
- (7) 子育て支援について

■ 佐藤文子

- (1) 図書館の運営について
- (2) 国語力の低下について
- (3) 小・中学校における読書の取り組みは
- (4) 小・中学校での携帯電話・DS等のゲームの持ち込みについて
- (5) 自宅でのパソコンの指導は

■ 橋爪光雄

- (1) 児童虐待について
- (2) 健康づくりについて

■ 若月芳則

- (1) 町内雇用、雇用創出のための行政努力について
- (2) 町内に現在進出希望企業の話が具体的にありますか、又新たな雇用機会創出の考え方は
- (3) 来年度の就学児童数は何人が想定されるか、又この近年の動向は。その予想によっては学級数の変化も想定されるのか

■ 渡邊文星

- (1) 行財政改革の進捗状況について
- (2) 住民協働について
- (3) 地域スポーツセンターについて

町政と問

このページには、質問した議員の質問事項が掲載されています。議会だよりに掲載する一般質問の内容は、紙面の構成上、1議員3件までの質問、答弁をそれぞれ550字以内に要約しておりますので、ご了承ください。



山崎 博文 議員

Q 台風18号による被害地区の権現堂、川添両地区は、通学路と避難経路が同じであるが、安全確保は側溝の蓋かけなど安全確保に努めていきます

質問 台風18号による被害状況はどうであったのか。被害地区には浪江小、浪江中があり、通学路と避難経路が同じである。道路が冠水している状況で登下校や避難するには、どこまでが道路か、側溝の蓋の

有無など分からず非常に危険だが、安全・安心な浪江町を目指すためにも改善策は検討しているか。

町長 被害状況は、51件3445万円です。また、避難できないような状況になつては大変ですので、避難

の経路を調査して側溝の蓋がけなど安全確保に努めていきたいと考えます。

浪江小学校校庭芝生化のモデル校指定実現は

質問 校庭の芝生化は、

さまざまな効果があり、自然環境にやさしい町づくりの一つの施策と考えるが、浪江小を芝生化のモデル校に指定し、今後成果を見て町内の教育施設に普及してみてはどうか。

町長 国の「小学校運動場芝生化推進事業」に申請中です。交付率が下がる場合には、優先事業として調整しながら単独事業に切り替えていきたいと考えます。

質問 貴重な体験と豊かな心を持った高齢者の方々が、将来の主役である子どもたちの「心の先生」としてふれあうことは、明るく元気で楽しい生活を送ることに繋がると考えるが、そういった機会を数多くつくるための取り組みは。

町長 学社融合事業などで昔の遊びを通じ、子どもとのふれあう機会をつくっていますが、今後とも高齢者の皆さんが楽しい生活が送れるよう関係各課の連携に努めていきます。



求められる安全確保（浪江小東側道路）



完成までもない請戸橋



紺野 栄重 議員

Q 未圃場整備をどう進めるか

A 簡易な小規模事業は有効と考えますので、関係機関と実現可能か検討します

質問 未圃場整備をどう進めるか、町で補助して進められないか。

産業振興課長 土地改良事業で取り組めないところを簡易に整備するのは有効なので、実施可能か検討していきます。

りをどう進めるか。

町長 自助、共助、公助を基本に、個々の課題解決に適した役割分担を明確にし、まちづくりに取り組みます。

質問 下水道接続率とPRの方法は。

上下水道課長 接続率は87%です。戸別訪問などを行って推進します。

質問 これまでの下水道、農業集落排水の投資額は。

上下水道課長 下水道事業が約110億円、農業集

質問 柵堀、請戸の延長の予算はどれくらいか。

上下水道課長 約60億円の見込みです。

質問 2工区について、北寄りになりすぎているか、変更の余地はないか。

建設課長 都市計画決定までは、地域の方々と意見交換されていると理解しています。都市計画が決定されており、変更することは難しいと思われます。

今後の下水道事業の計画を問う

質問 完成までもない請戸橋



佐々木英夫 議員

Q 原田直之氏を浪江町の名誉町民にする考えはあるか

A 条例規定に基づき、名誉町民としての推薦を検討してまいります

質問 民謡を通じて広く活躍されており、多くの町民に認知されている原田直之氏こそ名誉町民としてふさわしいと思うが。

町長 長年民謡歌手として活躍され、浪江町観光親善大使も引き受けていただいております。郷土の発展には大変尽力なされている方であります。条例規定に基づき、名誉町民としての推薦を検討してまいります。

本物の芸術文化に触れる機会の創出を

質問 芸術、文化の芽が育たないのはなぜか。

生涯学習課長 第四次浪江町長期総合計画の中で、「豊かな心と文化を育むまち」を掲げ芸術文化の高揚に努めております。

質問 高度なプロの音楽、演奏、作品に触れ、夢

を持たせるべきと思うが。

生涯学習課長 プロの演奏、作品に触れることは、感動し興味を持つことに繋がりますので、そのような機会を創出するよう協議してまいります。

健康科学プラザ構想は

質問 仮称「健康科学プラザ」の実現はあるのか。

町長 東北電力との約束もあり、必ず実行していただくよう今後とも要請してまいります。



ぜひとも名誉町民に（特別功労表彰を受ける原田氏）



田尻 良作 議員

Q 「戸別所得補償制度」町の対応策は

A 現段階では不透明な部分があり完全には提示できません

質問 農家は「農業行政の制度改正」で次年度の水稻作付けに不安がある、町の対応策は。

産業振興課長 国はこれまでの調整水田、管理水田を減反対象として認めるのか、まだ不明ですので、町としては制度改正の詳細がわかり次第、農家への説明会を行いたいと考えています。

質問 今回の制度改正の基軸はコメの販売価格と生産費の差額の補填保証になる。算定の基準は。

産業振興課長 全国一律になるのか、福島県の平均になるのかまだ確定はされていません。

19年度産米福島県の実績では生産費1万4234円。販売価格コシヒカリ1等米1万3976円、ひとめぼれ1万3232円です。

図 米戸別所得補償モデル事業の仕組み

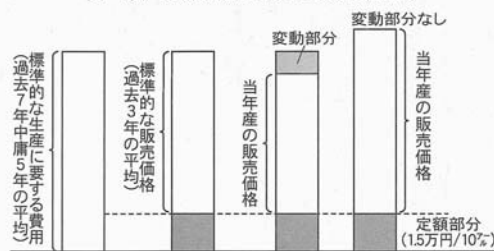


表 水田活用自給力向上事業の交付金単価

作物	単価(10%)
麦、大豆、飼料作物	35,000円
新規需要米 (米粉用・飼料用・バイオ燃料用米・発酵粗飼料用稲)	80,000
ソバ、ナタネ、加工用米	20,000
その他作物 (都道府県単位で単価設定可能)	10,000
二毛作助成 (主食用米と戦略作物または戦略作物同士の組み合わせ)	15,000

※米の「生産数量目標」の達成にかかわらず、すべての生産者を助成対象とする (農水省資料から作成)

農業強化策を図れ

質問 農産物安定生産のためには基盤整備事業推進が重要と考える。未整備地区への取り組みは。

産業振興課長 中山間整備事業などで圃場整備事業の推進をしています。基盤整備事業費は国県で80%地元負担が20%の負担率です。町では地元負担20%

中で他町村並みの10%の助成を考えています。

質問 耕作放棄地、遊休農地の解消対策は。

産業振興課長 国の再生利用事業交付金制度があり、町ではこの制度の活用希望者を公募しています。さらに農業委員会への斡旋等の依頼を行い、集落的な耕作放棄地解消推進を考えています。



小黒 敬三 議員

Q 健全な競争の中で地域に貢献できる企業を育てる公共事業のあり方は

A 入札制度全般にわたり検討します

地元経済対策の視点を問う

質問 県では公共事業が、地域経済対策になるよう本社所在地、同一市町村内の工事実績、ボランティアの取り組み、除雪や維持補修の実績を点数化して、

公共事業のあり方は

入札に反映させているが、当町ではどうか。

Q 「事業仕分け」と浪江町の影響について問う

A 合併浄化槽整備事業など五事業で7200万円です

を掲げた民主党農政の骨格をなすもの。政策体系全体の議論は望むべくもなかった。」と批判的意見を述べている。町長はどのように考えるか。

町長 国民目線から見直しが行われ、事業仕分けは必要不可欠のものと評価

質問 無駄を削り、これまでの政官財のしがらみを絶てるのでは、という期待の一方、短時間での判断は乱暴という批判が出たことも事実。東京大学大学院谷口教授は「耕作放棄地再生利用対策事業が見送りと判定された。食料自給率60

入札に反映させているが、当町ではどうか。

総務課長 施工能力や技術者などの客観的な格付けと、地域貢献など主観的な角度で点数化して、指名競争入札を実施しています。

入札に反映させているが、当町ではどうか。

質問 県は、公共財産の品質確保の観点から、最低制限価格と失格基準を設けているが、当町ではどうか。また、32都道府県で90%としているが引き上げる

最低制限価格の基準を問う

質問 県は、公共財産の品質確保の観点から、最低制限価格と失格基準を設けているが、当町ではどうか。また、32都道府県で90%としているが引き上げる

雇用景気対策・相談活動を問う

質問 雇用の確保と対策は。

産業振興課長 随時企業訪問しお願いしています。誘致企業の一社では17名の新採用を予定しています。

質問 ハローワーク浪江の廃止後の相談所の活動は。

総務課長 「廃止」と判定されたもの2件、「予算計上見送り」が2件、「予算要求削減」とされたもの17件

産業振興課長 4月6日に相談所を開設し相談員2名が配置されています。求人情報検索システムの利用は、

考えは。
総務課長 約77%で、失格基準は設けていません。また、県は85%ですが、今後他町村や県の動向を見ながら検討してまいります。

入札価格の事前公表の弊害を問う

質問 事前公表だと、工事の内容や積算能力に関係なく落札され、ダンピングや品質の低下、下請け業者いじめの原因になる。改善する考えは。

改善する考えは。

5526名になっております。

子ども医療費無料の年齢引き上げを

質問 新年度の実施計画は。
保険福祉課長 当初予算編成までには結論付けません。

福島県内の子どもの医療費無料化状況
2009.6.30 医療費無料化資料から作成

対象年齢	入院	通院
小学1年終了まで	矢吹町 (1)	矢吹町 (1)
小学3年終了まで	浪江町 (1)	郡山(2)月、通川村、会津美里町 (浪江町) (4)
小学5年終了まで	福島市、郡山(2)月、二本松市、田村市、南相馬市、伊達市、本宮市、桑折町、鎌石町、北塩原村、会津坂下町、西郷村、中島村、石川町、平田村、浪川町、古殿町、小野町、富岡町、双葉町、新郷村 (1)	福島市、二本松(10)月、田村市、伊達市(3000円まで)、10月、本宮市、桑折町(10)月、鎌石町、北塩原村、会津坂下町、西郷村、中島村、石川町、平田村、浪川町、古殿町、富岡町、双葉町、新郷村 (14)
中学5年終了まで	喜多方市(12)月、国見町(10)月、川俣町、大玉村、月、上、川俣町、大玉村、下郷町、楳原町、只見町、西会津町、猪苗代町、通川村、柳津町、三島町、会津山形、昭和村、会津美里町、楳原町、矢野町、浪江町、大野町、葛尾村 (24)	国見町(10)月、川俣町、大玉村、楳原町、西会津町、猪苗代町、柳津町、三島町、会津山形、昭和村、会津美里町、楳原町、矢野町、浪江町、大野町、葛尾村 (18)
計	49市町村	36市町村

*県の制度は入院、通院とも就学前まで
59自治体中13自治体は県の制度と同じ うち4自治体が今後拡充を予定(いわき市を含む)
*下欄部が今後拡充予定の市町村 ()内は開始月



佐藤 文子 議員

Q 図書館がふれあいセンターの2階では不便ではないか

A 当分の間は現在の施設を効果的に活用できるように努力します

質問 エレベーター

ホールスペースが狭く、障害者には大変利用しにくい。改善すべきでは。

町長 担当課と協議し、利用しやすくなるよう検討します。

質問 夏休み中などは学習室や視聴覚室がなく、児童生徒がロビーホールまであふれているが。

生涯学習課長 第一コンピュータ室等の開放を考えています。ロビーホールの騒音は利用者の指導強化に努めます。

質問 開閉時間の延長は。

生涯学習課長 今後の検討課題としていきます。

学校図書に格差はないか

質問 町内小中学校間の蔵書による格差はないか。

教育長 実態を把握した上で小学校では充実を、中学校は量と内容両面からの充実に努めます。

家庭内の保護者の問題だけでは解決しない

質問 最近のゲーム機は小型化してポケットに入る大きさになったが、学校に持ち込めば子供同士のトラブルにもなる。使用の指導は。また携帯電話の学校への持ち込みは。
教育長 ゲーム機の持ち込みは、家庭の協力のもと

適切な指導を今後もしていきたいと思えます。携帯電話は特別な事情のない限り持ち込みは許可になりません。現在はゼロです。

質問 校内のパソコンはフィルタリングされているが、家庭用のパソコンの使用は家庭任せには出来ない昨今では。指導の徹底は。
教育長 小学校では学級活動や、中学校では総合的学習の中で、情報網の位置づけで正しい使用について指導をしています。



利用しにくいエレベーター周辺

森林浴の推進



橋爪 光雄 議員

Q 健康づくりに、積極的な取り組みを

A 健康増進のために、できる限りのことをします

質問 「歩く」ことは、老化予防や健康維持につながる。なみえ生活環境保全林(いこいの村なみえ西側)は、癒し効果が期待できる保全林である。「ミニ・セラピーロード」として整備する計画はあるか。

町長 脳の細胞の活性化のためには、「森林浴」が効果があると聞いています。高瀬川の森林、津島地区の赤松、なみえ生活環境保全林等貴重な財産があります。町民にPRして整備を進めていきます。

質問 生活習慣予防・健康教育の取り組みを示せ。

子育て・健康増進課長 生活習慣予防など、食生活に関して正しい知識を得るため、毎年、健康教室を開催しています。食生活改善



「森林浴」ができるなみえ生活環境保全林

推進員会(にんじんの会)の皆さんが、各地区で、生活習慣病予防のための食事などの伝達講習会を実施しています。

生命を大切に

質問 児童虐待の事態・児童相談所の対応は。

子育て・健康増進課長 児童相談所の対応は、当町では現在12件です。

内訳は、平成20年度からの継続的な観察が8件、そのうち身体的虐待が3件です。新規では、児童相談所から虐待の連絡が2件あり、児童相談所による保護、継続的な観察がなされています。その他が2件です。今後も、関係機関と連携を図りながら相談・支援を行っていきます。



熱心に学ぶ子どもたち（荻野小）



若月 芳則 議員

Q 平成22年度の就学予定児童数と学級数は

A 8月21日現在178名浪江小学校以外はすべて1クラスが想定されます

質問 各学校別の人数は、**教育総務課長** 8月現在

で、浪江小91名、幾世橋小21名、請戸小11名、大堀小21名、荻野小22名、津島小12名、合計178名です。

質問 学級編成は、**教育総務課長** 現在の想定では、浪江小3クラス以

外は各小学校1クラスとなります。

質問 少人数学級のメリット、デメリットその対応策は、**教育総務課長** メリット

は、個々に応じた学習、生活指導ができることです。デメリットは、運動会や団体種目の部

活動にも影響が出やすいなどがあります。教育の機会均等、公平性の確保の観点から影響の出ないよう教育行政と学校経営に努めてまいります。

雇用創出の行政努力は

質問 高卒者の就職内

定率は低迷している。雇用創出の行政努力は。

町長 基金を活用した事業を各課鋭意実施しています。21年度は、町単独事業を含め22名の雇用を図りました。あらゆる機会を通じて雇用創出の努力、就活支援を実施してまいります。

企業誘致など新たな雇用機会創出について

質問 雇用拡大、活性化のためにも企業の進出等の話はあるか。

企画調整課長 関係企業に働きかけておりますが、具体的な話には至っていません。**質問** 企業が期待する立地条件は、当町はそれらに比べられるか。

企画調整課長 23年度に高速道路が開通し、交通アクセスが良いこと、水、優良な労働力などがあげられます。県と連携し税制上の優遇制度や電源立地の補助金などを活用して誘致に努力してまいります。また農工商が連携した雇用の確保に努めてまいります。



渡邊 文星 議員

Q 地域スポーツセンター建設構想の住民への説明責任は

A 現在、行っていない

質問 約16億円の施設の構想であるにもかかわらず、全町民への説明責任が果たされていない。予算がついてからの説明では問題です。旧態依然の箱モノ行政であり、民意はどこにあるのか。構想に対する説明責任を果たすべきと思うが

いかがか。

町長 国の予算がきちつと決まらなると説明できないのかなと感じがしております。

質問 予定地の周辺整備事業に要する費用の根拠ある見積額とその財源は確保されているのか。

生涯学習課長 JRとの協議で、踏切工事と条件整備を含め計12億円。財源確保は財政状況から同時進行はできません。

南工業団地（太平山）整備の取組みに対する現状の責任は誰に

質問 土地所有者は公共事業ということで協力してきた。現在の事業凍結の現状を、未買収の地権者に周知する考えはあるか。

企画調整課長 今まで周知を行っていないが、今後、対応を考えます。また、貴重な財産であり、方向づけは変わりません。企業誘致に向けた課題の整理と方向づけを検討します。

質問 産学官構想

による用地買収から約15年、事業凍結から約6年経過した。約3億円強を投資したあげくに、買収土地が虎刈りで、活用できる土地がない状態である。現状の取組みに対する責任の所在はどこに、また誰にあるのか。

町長

公共事業評価委員会より2回休止の答申を受けました。責任は町行政にあります。



構想段階だからこそ求められる全町民への説明責任【新体育館構想予定地】

議会改革講演会

自治体議会改革フォーラム代表
法政大学法学部教授 廣瀬克哉氏を講師に

「議会改革の課題と

議会基本条例の意義」をテーマに講演

議会基本条例制定調査特別委員会が主体となつて、11月1日 町役場で議会改革をテーマとして講演会を開催しました。委員会所属の議員ばかりでなく、全ての議員が共通認識を持つための勉強会としての位置づけでしたが、他町村の議員や一般町民も参加し有



(写真提供：福島民報社)

意義な講演会でした。委員会では、この講演会を契機として、議会基本条例の策定に向けた議論を進めていきます。

廣瀬克哉先生による講演会の要点

◎住民は、議会改革に無関心
●議会関係者には議会改革

への関心が広まっている
●住民の議会改革への関心は薄いの
●議会が良く
●住民にメリットがあるの
●議会が良く
●住民にメリットがあるの
●議会が良く
●住民にメリットがあるの

◎議会改革の自己目的化の問題

●基本条例制定後動きが見える議会とまったく見えない議会に二分

◎最終目標は「住民の意思決定機関」としての信頼

●住民自治を実際に運用する場として議会が住民の信頼を得ること
●住民の意思が議会に反映されているという実感が持たれているか

●そのためにも合議制である議会ならではの役割を目的に見るように果たすこと

●議論する議会、論点が見える議会へ
●合議制で議論して結論を出す

◎議会基本条例の「公認」化

●議会は、多様な民意を反映しつつ団体意思（自治体）の決定を行う機能と執行機関の監視を行う機能

能を担っているが、十分にその役割を果たしていないのではないかと、近年、それぞれの議会において、議会の活動理念とともに審議の活性化や住民参加等を規定した議会基本条例を制定するなど、従来の運用の見直しに向けた動きが見られるところであり、引き続きこのような自主的な取り組みが進められることが期待される

◎なぜ議会基本条例なのか？

●単なる議会の内部事項ではない

●住民に対する権利保障

●二元代表制の明確化

●議会・首長関係の再構築

●目に見えるルール

●「議会が変わる」というメッセージ

◎議会報告会

●議員個人ではなく議会という機関として活動報告や議決した議案を各議員が説明できるか

「浪江町における議会改革の経過」

年月	具体的事項など改革項目	取組み概要
12年3月	浪江町議会情報公開条例の施行	議会独自の条例制定
13年10月	浪江町議会議長が取り扱う個人情報保護の保護に関する規定の施行	
	傍聴者への一般質問通告内容を配布	
	質問席の対面式化	一般質問席の改善 町執行部側と対面する質問席の設置
14年9月	議員定数に関する公聴会の開催	公述人15名（公募7人、学経8団体）
14年6月	本会議のインターネット中継の開始	
14年12月	一般質問における一問一答方式の試行	質問者の持ち時間60分（答弁を含む）
15年3月	議員定数の削減	22人から20人へ（H17から適用）
17年3月	議決事件の追加（自治法第96条第2項）	基本構想に係る基本計画まで議決事項とした
17年10月	議会議員控室（パソコン）の設置	
20年3月	議員費用弁償の見直し改正	本会議委員会出席日当の廃止
20年6月	政務調査費の凍結	H20・4からH21・3まで継続
20年12月	議会運営委員会で北海道栗山町議会視察研修	議会改革の先進事例研究のため（議会基本条例）
21年3月	議員定数調査特別委員会設置	議員20名で組織
21年6月	定数調査特別委員会報告	賛否両論併記
21年12月	政務調査費の凍結継続	H22・3まで継続
21年3月	議会基本条例制定調査特別委員会設置	委員10名
21年6月	議会議員定数調査特別委員会設置	委員10名
21年8月	総務常任委員会と北海道福島町議会視察研修	議会改革先進事例研究のため（開かれた議会・広報の充実）
21年11月	議会運営委員会で北海道白老町議会視察研修	議会改革先進事例研究のため（開かれた議会・3期にわたる議会改革）
21年11月	議会改革講演会の実施	廣瀬克哉法政大学教授による講演会実施 聴講者33名
21年11月	議員定数に関する公聴会の開催	公述人12名（公募5人、学経7団体）傍聴者24人

議会議員現定数20名は適正か

議員定数調査のため公聴会開催

議会議員定数調査特別委員会公聴会が11月15日町役場で開催され、町民に現定数20が適正かどうか意見を聴いた。

議会議員の定数をめぐっては、一昨年6月の定例議会で町民2、500名余の署名が添付された「議員定数削減を求める件について」の陳情書を採択したにもかかわらず、委員会設置に関する発議は否決。9月定例議会でも否決され、町

民の不信感が高まった。12月定例議会で可決したものの、4月の改選を前にした昨年3月定例議会で賛否両論併記の報告書を提出し審議を終了した。改選後の6月定例議会で再度、委員会を設置し、調査・審議の一環として町民の意見を広く聴こうと公聴会を開催した。公聴会では、一般公募の5人と各団体の代表者7人が意見を述べた。住民の関心も高く多くの住民が傍聴に訪れていた。



公述人 12人

- 一般公募者 5人
瀬野範正、吉田忠一、渡辺泰彦、吉沢正己、滝口貞男

- 各団体の代表者 7人
松崎俊憲（浪江町商工会）、鈴木充（浪江町行政区長会）、佐々木幸夫（浪江町老人クラブ連合会）、三瓶茂（ふたば農業協同組合）、朝田江位未（浪江青年会議所）、松本茂子（浪江町女性団体連絡協議会）、叶谷守久（相馬双葉漁業協同組合）

意見の内容

現在の議員定数20名が適正であるかどうかの設問に対し、

適正である 5人
適正でない 6人

削減すべきであるとした者（内訳14名が1人、15名が1人、16名が2人、16名が18名が1人、18名が1人）

◎ 「適正」とした理由
結論が出ない 1人

・ 広い町の面積を考えれば、民意を反映させるために

も現定数が必要。

・ 第一次産業から第三次産業までを網羅した議員構成がなされることで町づくりや商工振興に幅広い意見の集約がなされる。

・ 経費削減によるメリットより、地域の意見が集約されなくなるデメリットの方が大きい。
・ 他町村と比べても、人口に対する議員の割合が多いとはいえない。
・ 人口千人に一人は妥当。

意見

・ 現定数維持の条件として、議員年金等の改革、議員報酬の透明性の確保が前提。

・ 議会活動全般の情報をもっと提供すべき。
・ 議員は、議会の役割、議員の仕事についてしっかりと自覚を持って取り組んでほしい。

◎ 「削減すべき」とした理由

・ 議員の質の向上に努め、少数精鋭で臨むべき。
・ 厳しい町の財政を考えれば、削減すべき。

・ 法定数は下回っているが、他市町村と比較しても多く、町民の理解を得

られない。

・ 昨年の議員削減を求める陳情書の本会議採択の重みと民意の尊重。
・ 類似団体との比較から削減すべき。

・ 費用対効果の観点から削減すべき。

意見

・ 町民の声を聴いても決めるのは議員。減らすのが嫌なら報酬をカットすべき。
・ 地域の代表という考えではなく、広く町を見て、民意の反映ができるよう努力してほしい。
・ 町民と町のパイプ役をしっかりと果たしてほしい。

◎ 「結論が出ない」意見

・ 民意を反映するためには、報酬を減らしてでも議員を22名に増やしてほしい。

・ 人口減少や厳しい町の財政状況など現在の時流から削減すべきとする意見が多く出た。その場合は18名が妥当ではとの意見あり。
・ 議会の活動が見えない、わからない。
・ 地区の代表ではなく、浪江町全体を考えて。

委員会

研修報告

総務 常任委員会

◆日程

平成21年8月24日(月)から
26日(水)

◆研修先
北海道当別町及び北海道
福島町議会



○しっかりと討議する議会の実現を目指して日々改革を進めていること。
具体的には

- ◆研修目的
 - ・コミュニケーションバス実証
運行事業について(当別町)
 - ・議会の活性化の取り組み
について(福島町)

- ・総務常任委員会では、8月26日に北海道の福島町議会議を研修しました。
- ・今回福島町議会議を研修地に選定したのは、町民に開かれた議会づくりを目指して改革を進め、その集大成として21年3月に「議会基本条例」を制定しており、浪江町議会議でも6月定例議会議で「議会基本条例調査特別委員会」を設置してこの条例の制定に向けた取り組みを開始したので、研修地として最適と考えた。
- ・福島町議会議の「開かれた議会づくり」の取り組みは、○町民が実感できる政策を提言する議会議
- 町民が参加する議会議

産業・建設 常任委員会

◆日程

平成21年8月24日(月)から
26日(水)

◆研修先
福岡県香春町及び福岡県
二丈町

- ◆研修目的
 - ・PFI方式による浄化槽市町村整備事業について(香春町)

- ・議会のテレビ放映
- ・議会ホームページの創設
- ・議会報告会の実施
- ・傍聴者への会議資料配布
- ・傍聴規則の大幅な緩和
- ・夜間議会議の開催
- ・議員選挙の平日投票の実施
- ・通年議会議の開催
- ・執行者への反問制度の導入等々。

当町議会議でもテレビ放映など一部は実施済ですが、全体としてはかなり遅れている。今後基本条例調査特別委員会での議論とあわせて、開かれた議会づくりのための議論を深め、町民の期待に応え得るよう議会議改革を進めていく必要性を痛感した。

二丈町における地域水田ビジョン策定と実践の取り組みについて
香春町については、平成15年度から日本で初めてのPFI方式による浄化槽整備推進事業に着手し、環境にやさしい循環型社会を目指したまちづくりを推進している。当町においても、公共下水道事業のこれ以上の推進は財政的にも困難が予想され、PFI方式導入を求める陳情も提出されていることから、今後の方向性を探るため内容精査したものである。合併浄化槽設置に係る費用の個人負担が大きく軽減されることや、この事業で設置した浄化槽は町の財産となることから浄化槽排水の異常等は町が責任を持つて対応する。そのため個人設置型浄化槽の維持管理の不徹底による処理水の水质悪化の問題は解消されるなどの利点も確認された。しかし、当町の現状を見たとき、今後想定される設置数や公共下水道事業の推移、すでに設置されている個人設置型浄化槽と



ブロックローテーションによる ほ場視察(二丈町)

の平等性の確保等多くの課題も存在することから、更なる議論・検討が必要と認識してきた。

二丈町については、水田農業ビジョンの実践の取り組みは、全国トップクラスである。水田の利用権と所有権を分離して、担い手に対して一括で利用権を白紙委任するもので、これを持つてブロックローテーションも確立され、所得確保ができ、後継者も確実に定着している。これらの手法は、当町においても非常に参考になる点が多く、今後議論を重ね浪江町農政に反映させていきたい。

文教・厚生 常任委員会

◆日程

平成21年10月5日(月)から
6日(火)

◆研修先
長野県下條村

- ◆研修目的
 - ・子育て支援・少子化対策
について

平成2年より人口増対策や若者定住促進として村営住宅などの整備に取り組み、当時3918人と減少し続けた人口も現在4181人に回復し、中学生までの医療費無料化など子育て支援の施策の充実を図ったため、平成15年から18年の平均合計出生率が2.04になり、全国的に注目された下條村を研修視察した。宮島総務課長の説明によると、若者定住促進住宅に住する若者のほとんどが隣接する飯田市に勤務し、居住者の転入地域別割合は、5割が飯田市、2割が近隣の町村、2割が村の次男、1割が県外となっており、実に約8割が村外からの転入者であるとの事だ。入居条件、近隣家賃相場の約半額など村独自の施策により



若者が住みたいという魅力ある町づくりに取り組んだ成果といえよう。今後は若者の安定した雇用確保のために企業誘致に力を傾注するとの事だ。

当町は、若者の人口流出が若干ではあるが見られる。また、平成19年度の出生率は、1・70である。下條村とは地域的条件は異なるが、若者の人口流出に歯止めをかけ、少しでも出生率が上がるよう子育て支援、少子化対策などの課題について下條村を参考に今後精査研究する。

地域共生型 電源開発 特別委員会

◆日程

平成21年10月22日(木)から
23日(金)

◆研修先

新潟県柏崎市

◆研修目的

●原子力発電所誘致に伴う地域活性化と災害時の対応について

柏崎市においては、原子力発電所の誘致に伴い、地域企業への事業発注、雇用創出、電気料金割引等による産業の活性化を進めている。

具体的な地域振興策としては、

○人づくり・産業振興のための投資

○大学への助成による地元就職率向上に貢献

○情報開発センター整備事業の育成、支援（企業誘致によるイオン電池工場）

などがあげられる。

原子力発電所における災害時の対応については、行政対応のみならず自主防災組織による町内巡回等による住民の安否確認や、食料

の確認等を行い多に役立つこと。

立ったこと。



反省点としては、
○複合災害では、国が前面に出て対応すべき（I A E Aが指摘）

○情報の一元化による、正確な情報伝達の確保及び情報の共有

○モバイル情報の活用やコミュニティ会（小学校単位のエリア）の活動が必要

などであった。

原子力発電所の恩恵が地域経済に活性化をもたらしていることを実感した。また、地震による原子力災害時の対応についての反省点を享受いただき、隣接町としての当町における今後の原子力防災に対する取り組みに大変参考になった。

議会活動の近況

11月

- 1日 議会改革講演会（町役場）
- 2日 文教・厚生常任委員会
- 4日 第9回臨時議会
総務常任委員会
議会報編集特別委員会
- 5日 双葉地方町村議会議員研修会
（大熊町文化センター）
- 9日 町村議会広報研修会（郡山市ビックパレットふくしま）
- 10日 町村議会議長会要望活動（東京）
- 11日 町村議会議長全国大会（東京 NHK ホール）
- 11～12日 議会運営委員会視察研修（北海道白老町議会）
- 12日 行政視察来町（岩手県大槌町議会議員）
- 15日 議員定数調査特別委員会公聴会（町役場）
議員定数調査特別委員会
- 16日 広域保健衛生常任委員会
（富岡町・双葉地方会館）
広域消防厚生常任委員会
（富岡町・双葉地方会館）
- 17日 広域総務常任委員会（富岡町・双葉地方会館）
議会基本条例制定調査特別委員会
- 18日 婦人会と議会議員との懇談会
- 20日 町村議会事務局職員研修会（福島市）
- 24日 広域議会運営委員会（富岡町・双葉地方会館）
- 25日 議会運営委員会
全員協議会
地域共生型電源開発特別委員会

12月

- 27日 広域圏議会定例会（富岡町・双葉地方会館）
- 30日 第10回臨時議会
議会基本条例制定調査特別委員会
- 4日 議会運営委員会
- 9日～18日 第11回定例議会
- 11日 全員協議会
議会基本条例制定調査特別委員会
- 16日 全員協議会
議会議員定数調査特別委員会
国道114号拡幅促進特別委員会
- 25日 双葉地方町村議会議長会（富岡町・双葉地方会館）

1月

- 7日 議会報編集特別委員会
- 12日～13日 議会基本条例制定調査特別委員会視察研修
（南会津町議会・会津若松市議会）
- 14日 議会運営委員会
議会報編集特別委員会
国道114号拡幅促進特別委員会
- 19日 議会報編集特別委員会
- 20日 国道114号拡幅促進特別委員会陳情
（相双建設事務所・福島県庁）
- 21日～22日 広域保健衛生常任委員会視察研修（千葉県茂原市）
- 22日 議会報編集特別委員会
- 26日 議員定数調査特別委員会
- 27日 文教・厚生常任委員会
全員協議会
- 29日 新人議員研修会（福島市）



町民の声

新年に思うこと



陶 俊明さん
(小野田)

元旦、圧倒的多数の笑顔を見た。初日を拝んで海から帰る人たちの晴れやかな列である。それは「なかよく みんな えがおで」というわが町の生活コンセプトが具現されているような希望の時を感じさせるものである。

一方で、不況、格差等の社会状況は現実として存在し、生活を重苦しいものにしていく。しかし、スーパーには食品、生活用品が山積され物質面には何の不足もない感がある。古老

福祉の現場から見えること



高橋 秀子さん
(中 浜)

私は、福祉関係の仕事に就いていることから、普段から高齢者の方々と話をする機会が多くあります。先日、ぐるりんこタクシーの

が「今はこんなに食料があふれていて、車もバンバン走っている。昔の不景気はもつと厳しいものだった。」という。要は気持ちのありよう次第である。昔とは違うといつてしまえばそれまでだが。

それぞれがよりよく生きていく活力をつくり出せということのようだ。それでは、具体的にどうすればよいのか。確かに、町政にも市場原理を取り入れられ窮屈な運営を強いられているのは理解できるが、今、人々が活力を得ることができると有効な施策が最も求められている。例えば、福祉や文化という分野でコスト意識を度外視した施策が一つぐらいあってもよいはずである。

ぜひ、町の方針である「協働のまちづくり」の中で英知を尽くして検討する価値はあるものと思う。それにより、私を含め元旦に見た大勢の笑顔が持続するまちづくりが叶うことを願うものである。

件が話題になりました。

町内で数か所用事がある場合

(例：自宅↓病院↓ショッピングセンター↓自宅)

移動することに利用料金が発生するのとこの。この料金体系に対して様々な意見が出されました。もちろん、いろいろな経費がかかるとは思いますが、利用料金の改善も含め、町民の誰もが気軽に利用できるような運行を望むものです。

議員の方々にもご多忙かとは思いますが、ぜひとも福祉施設の現場へ出向いていただき、高齢者の方々の声を直接聞いて、現状を把握していただきたいと思います。

編集

後記

新しい年が良い年になることを祈るのは、皆さん同じ気持ちだと思います。

町議会も全力投球で、町の皆さんの期待に応えるべく議会基本条例の制定等、多くの改革を推進してまいります。

特に地方分権の時代をむかえ、議会の持てる機能を十分に駆使して行動、実践することにより、町民に信頼され、存在感のある豊かな議会を築きたいと思えます。町民皆様のご健康とご多幸を願いながら……

(記・若月 芳則)

議長	吉田 数博
委員長	佐藤 文子
副委員長	愛澤 格
委員	山崎 博文
若月 芳則	
橋爪 光雄	
小黒 敬三	

みなさまの声を聞かせ下さい。

編集委員会では、議会に対する町民の声を議会だよりに掲載したいと考えております。議会傍聴時の感想等なんでも結構ですのでお声をお寄せ下さい。